

お知らせ

平成 26 年 3 月 5 日

情報提供先： 島根県政記者会
出雲市政記者クラブ

～ダム「役割」と「魅力」をより理解していただくために～

Facebook を活用した「志津見・尾原ダム」の情報発信を開始しました！

出雲河川事務所「志津見ダム管理支所」および「尾原ダム管理支所」では、ダムの「役割」と「魅力」をより理解していただくため、①ダムの適正な管理および②ダムを核とした地域活性化のための情報発信を SNS(ソーシャル・ネットワーク・サービス)の Facebook(フェイスブック)を活用して行っていきます。

< SNS (Facebook) の活用概要 >

①アカウント名：「志津見ダムファンクラブ」、「尾原ダムファンクラブ」

志津見ダム(尾原ダム)が大好きな人たちに「志津見ダム(尾原ダム)ファンクラブ」に加入していただき、ファンの皆様に優先的に各ダムに関する「ダム管理状況」や「イベント情報」等を提供し、各ダムの役割と魅力をより理解していただきます。(詳細は別紙-1)

②ファンの条件

別紙-1の会員条件を満たし、志津見ダム(尾原ダム)に関心のある方で各ダムの Facebook にて「いいね！」を押していただいた方。

③開設日：平成 26 年 3 月 3 日(月)

④アクセス方法

出雲河川事務所ホームページから、『志津見ダム(尾原ダム)ファンクラブ』の Facebook バナーをクリックしていただくか、以下のアドレスにアクセスしてください。

志津見ダムファンクラブ Facebook ページ：<http://www.facebook.com/cgr.mlit.shitsumidam>尾原ダムファンクラブ Facebook ページ：<http://www.facebook.com/cgr.mlit.obaradam>

志津見ダムキャラクター「くにびきくん」



尾原ダムキャラクター「すさのおくん」

【問い合わせ先】

国土交通省出雲河川事務所

(技術)副所長 玉田 一雄 たまだ かずお志津見ダム管理支所長 青木 幸成 あおき ゆきなり尾原ダム管理支所長 村松 清 むらまつ きよし

電話 0853-21-1850(出雲河川事務所 代表)

0854-73-0222(志津見ダム管理支所)

0854-48-0780(尾原ダム管理支所)

●Facebook(ダムファンクラブ)の展開

○ダムファンクラブについて

1. 趣旨

「志津見ダム・尾原ダムファンクラブ」とは、『志津見ダム・尾原ダムに関心がある人たち』のファンクラブです。

具体的には、志津見ダム・尾原ダムファンクラブ事務局が管理・運用するFacebookを活用し、会員条件を満たす方に「いいね！」を押していただくことでファンクラブの会員になっていただき、ダイレクトな情報提供を行うことで志津見ダム・尾原ダムの業務・魅力等を情報提供します。

2. 情報提供内容

「いいね！」を押していただくことで、以下のような情報をお届けします。

- ・志津見ダム・尾原ダムの所掌する業務内容（工事状況等）
- ・志津見ダム・尾原ダムが主催・協賛し、一般参加が可能な講演会
- ・イベント等の情報など
- ・その他、必要と判断した行政情報及び当該記事等のリンク先URL
 - ① ダムの見学会、モニターツアーなどの開催時は、最新情報を速やかに情報提供します。
 - ② イベント情報や記者発表資料等のリンク先を速やかに情報提供します。
 - ③ ダム便り等の広報紙のリンク先を速やかに情報提供します。

3. 会員条件

志津見ダム・尾原ダム ファンクラブのFacebookにて「いいね！」を押していただき、かつ以下の条件に当てはまる方。

- Facebookへの登録情報として以下の項目を登録されている方
 - ①本名（公称等含む・必須）
 - ②性別（必須）
 - ③居住地（市町村レベル・必須）
 - ④生年月日（可能であれば）

なお、会員として「不適切」と判断できる場合は予告無く”いいね！”関係から削除、あるいはブロックさせていただきます。

企業・団体FB
一般来訪者
=通常のホームページ
のように閲覧

会員条件を満たす方の
「いいね！」=
「友達(ファン)」
関係

ダムファン
クラブ

●ダム広報改善の行動計画

【目的】 【内容】 【情報伝達ツール】 【成果】

ダム事業の重要性に関する周知と理解促進を図るとともに、水源地域の活性化に貢献する。

ダムへの適切な理解と地域の活性化

1. ダムの適正な管理のための広報
⇒ ダムの機能や働き、役割について正確で適正な情報を分かりやすく提供する。

【発信する内容】

1) 当該ダムのプロフィール	5) 洪水情報
2) 仕事と役割	6) 濁水情報
3) 河川情報	7) 環境保全の取組
4) ダム諸量	

わかりやすく、親しみやすく

2. ダムを核とした地域活性化のための広報
⇒ ダムを核とした地域活性化に資する様々な企画を行い、ダムへの親しみと地域への来訪を促す。

【発信する内容】

1) ビューポイント	4) 体験・学習プログラム (湖面巡視、水生生物調査)
2) 水源地域のイベント	5) フォトコンテスト
3) 見学会	6) その他

【広報のステップ】

1) きっかけ・話題づくり
2) 詳しく見てもらう
3A) 実際に来てもらう 地域も知ってもらう
3B) 欲しい情報を見てもらう

【広報ツール】

1) ホームページ
2) パンフレット
3) SNS
4) インフラツアー・女子目線による広報

今回立ち上げ